

科目名：成人歯科学Ⅳ＜高齢者歯科、先端医療＞		必	1 単位 (45 時間)
(Advanced Dentistry, Geriatric Dentistry) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義 主担当教員： 野口 毅（実務経験あり） 担当教員の実務経験内容： 歯科大学教育職員（通算 3 年、専門分野：摂食嚥下リハビリテーション、障害者歯科）での実務経験を有する。 実務経験を生かした内容： 上記の実務経験から、臨床において全身疾患を抱える高齢患者が増える現在、高齢者における全身疾患・口腔機能ならびに嚥下機能などを学び、高齢者の歯科治療に対応できる歯科衛生士として最低限の知識の習得ができるよう講義を展開していく。			
学修目的	高齢者の特徴を理解し、個々の状況に応じて適切な歯科医療を提供できるようにする。 高齢者の口腔機能・嚥下機能の特徴、高齢者における口腔疾患の特徴、全身疾患との関連を把握し、臨床に応用するための基礎的な知識を修得する。 CP 2,3 に関連。 科目 No.S2C09H06		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①高齢社会と高齢者に関係する社会保障を説明できる。 ②加齢変化について組織、器官、身体機能、精神心理面、口腔領域の各レベルで説明できる。 ③高齢者の口腔領域の疾患を理解し、説明できる。 ④全身状態を把握し、個々の症例に対応し応用できる。 ⑤高齢者医療の状況を理解し対応方法について説明できる。 ⑥高齢者の口腔衛生管理について理解し、その評価方法や管理方法を説明できる。 ⑦摂食嚥下のメカニズムを理解し、高齢者の摂食嚥下障害について評価診断と対応方法を説明できる。 ⑧介護保険の概略を理解し、介護保険における歯科衛生士の役割を説明できる。 ⑨歯周組織再生療法を理解し、説明できる。 ⑩インプラントについて概略を理解し、説明できる。		
授業概要	高齢者歯科学は高齢者の顎口腔機能を維持・回復することにより全身的な健康に寄与することを目的としている。高齢者は、顎口腔機能はもとより身体機能も低下していることが多く、全身疾患を有し、身体状況に個人差が大きいなどの		

	特徴を有するため、それを踏まえた対応が必要である。授業では、高齢者の特性と歯科診療をはじめ顎口腔機能回復、維持、管理の重要性と方法、歯科衛生士の役割について解説する。
評価方法	講義への参加度（10%）、定期試験の総合評価（90%） 試験に対するフィードバックは掲示で行う。
予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間
教科書	歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3・4 版（編集主幹 森戸光彦：永末書店） 先端医療では教科書は使用しません。
参考書	必要の際に掲示する。
オフィスア- 連絡先	t.noguchi@kdu.ac.jp 質問等に関して事前にメール等で内容を確認すること。上記メールアドレスに御連絡の上での対応とする。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (4/10)	高齢者を取りまく社会1 1) 高齢社会における歯科衛生士の役割を理解できる。 2) 口腔健康管理について説明できる。 3) 社会環境について説明できる。 4) ノーマライゼーション、QOL について説明できる。	[予習]教科書 第4版 P1-15 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]高齢者、誤嚥性肺炎、ノーマライゼーション、QOL	講義 ○野口
2 (4/17)	高齢者を取りまく社会2 1) 高齢者における社会保障を説明できる。 2) 社会保障制度について説明できる。 3) 介護保険制度について説明できる。 4) 地域包括ケアシステムについて説明できる。	[予習]教科書 第4版 P16-31 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]社会保障、社会保障制度、介護保険制度、要介護高齢者、地域包括ケアシステム、ケアマネージャー、居宅療養管理指導	講義 ○野口
3 (4/24)	加齢変化 1) 加齢と老化について説明できる。 2) 各器官、各組織の老化を説明できる。 3) 身体機能の老化を説明できる。 4) 高齢者の精神・心理的变化について説明できる。 5) 認知症・せん妄・抑うつについて説明できる。	[予習]教科書 第4版 P32-42、P98-103 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]老化現象、老人性萎縮、老人性顔貌、組織・器官レベルの老化、身体機能の老化、高次脳機能障害、抑うつ、せん妄、うつ病、認知症（アルツハイマー型、レビー小体型、血管性、前頭側頭型）	講義 ○野口
4 (5/8)	高齢者の口腔領域について1 1) 高齢者における口腔領域について説明できる。 2) 高齢者における咀嚼機能、発音機能の変化について説明できる。 3) オーラルフレイル、口腔機能低下症について説明できる。	[予習]教科書 第4版 P43-64 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]歯・歯周組織、唾液腺、咀嚼機能、発音機能、構音障害、オーラルフレイル、口腔機能低下症	講義 ○野口
5 (5/15)	高齢者の口腔領域について2 1) 高齢者における歯の硬組織の疾患および歯髄・根尖性歯周組織疾患、歯周疾患を説明できる。 2) 口腔粘膜疾患、口腔乾燥症について説明できる。 3) 口臭について説明できる。 4) 高齢者で多く見られる口腔疾患を説明できる。	[予習]教科書 第3版 P63-96 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]う蝕、根面う蝕、歯髄疾患の特徴、根尖性歯周組織疾患の特徴・治療、歯周疾患、口腔粘膜、口腔乾燥、口臭、顎関節症、味覚障害、三叉神経痛、オーラルディスキネジア	講義 ○野口
6 (5/22)	高齢者の歯科治療 1) 生活環境について説明できる。 2) 全身状態の評価と対応について説明できる。 3) 配慮を必要とする患者への対応について説明できる。	[予習]教科書 第4版 P65-89 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、ADL、IADL、BI、	講義 ○野口

		FIM、BDR 指標、高血圧症、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、動脈硬化、脳血管障害、パーキンソン病、糖尿病、肝炎ウイルス、関節リウマチ、COPD 心不全、心内膜炎、弁膜症、不整脈、深部静脈血栓症	
7 (5/29)	生活機能を低下させる疾患・症候 1) 生活機能とその評価について説明できる。 2) 生活機能を低下させる全身状態・全身疾患について説明できる。 3) 生活機能の低下と介護について説明できる。	[予習]教科書 第4版 P90-117 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]生活機能、CGA、CGA7、ADL（BADL、IADL）、MMSE、HDR-S、MoCA-J、脳血管疾患、誤嚥性肺炎、抗血栓薬、認知症、MCI、うつ病、パーキンソン病、ALS、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症、ヘルスプロモーション、多職種連携	講義 ○野口
8 (6/5)	通院困難者の病態と対応 1 1) 歯科訪問診療について説明できる。 2) 外来診療について説明できる。 3) 往診と訪問診療について説明できる。	[予習]教科書 第4版 P118-146 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]歯科訪問診療、多職種連携、ICT、急性期、回復期、生活期（維持期）、緩和ケア、緩和期（終末期）、モニタリング、倫理 4 原則（自立尊重原則、善行原則、公正、無危害原則）栄養アセスメント（SGA, MNA-SF）	講義 ○野口
9 (6/12)	通院困難者の病態と対応 2 1) 在宅患者が受ける医療的ケアについて説明できる。 2) 口腔・鼻腔吸引について説明できる。 3) 車椅子・介護ベッドの取り扱いについて説明できる。 4) 移乗・介助、体位について説明できる。 摂食嚥下リハビリテーション1 1) 摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。 2) 摂食嚥下機能の評価について説明できる。	[予習]教科書 第4版 P146-175 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]酸素療法、カニューレ、口腔・鼻腔吸引、車椅子、移乗・介助、体位、摂食嚥下の5期（先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期）、摂食嚥下障害の原因疾患、球麻痺、仮性球麻痺、EAT-10、RSST、MWST、FT、咳テスト、頸部聴診法、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査	講義 ○野口
10 (6/19)	摂食嚥下リハビリテーション2 1) 摂食嚥下障害の診断について説明できる。 2) 間接訓練、直接訓練について説明できる。 3) 栄養方法（経口栄養、経静脈栄養、経管栄養）について	[予習]教科書 第4版 P176-194 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]誤嚥、FOIS、FILS、経口摂取、経腸栄養、胃瘻、静脈栄養、間	講義 ○野口

	て説明できる。 4) 補綴的対応について説明できる	接訓練、直接訓練、舌接触補助床 (PAP)、軟口蓋挙上装置 (PLP)、誤嚥性肺炎、窒息	
11 (6/26)	口腔健康管理 1) 歯科衛生士ケアプロセスについて説明できる。 2) 高齢者への口腔衛生管理について説明できる。 3) 高齢者への口腔機能管理について説明できる。	[予習]教科書 第4版 P195-237 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]歯科衛生士ケアプロセス、アセスメント、POS、口腔機能管理、専門的口腔ケア	講義 ○野口
12 (7/3)	介護保険における歯科衛生士の役割 1) 介護予防について説明できる。 2) 口腔ケアマネジメントについて説明できる。 3) 居宅療養管理指導について説明できる。 4) 栄養管理について説明できる。	[予習]教科書 第3版 P191-220 [復習]配布物該当部分を理解しておく [キーワード]介護予防、廃用症候群、口腔ケア、居宅療養管理指導、栄養管理	講義 ○野口
13 (7/10)	歯周組織再生療法について説明できる [	[予習]歯周組織再生療法について概略を調べる [復習]配布の内容を理解しておく [キーワード]歯周組織再生	講義 ○野口
14 (7/17)	インプラント 1) 概要について説明できる 2) 利点と欠点について説明できる	[予習]インプラントの概略を調べる [復習]配布資料の内容を理解しておく [キーワード]フィクスチャー、欠損補綴、初期固定、ステント	講義 ○野口
15 (7/24)	問題演習 問題演習で知識理解を深める	[予習]高齢者歯科問題演習 [復習]解説した問題を解き直し用語などを理解しておく [キーワード]高齢者歯科学全般	講義 ○野口